



川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和3年2月15日(月) 第42号

教育目標
☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

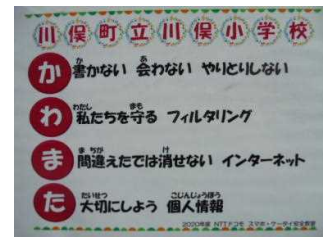
発行者 校長 本名 武



スマホ等安全教室



2月9日の学校保健委員会に5・6年生も参加し、スマホ・ケータイ・ゲーム機等の利便性や危険性についてNTTの講師の方を招き学びました。ネット使用と健康、スマホ・ネット依存、文字コミュニケーショントラブルやSNSの問題、ネットでの出会いや自撮りの危険性、ゲーム課金等について、これまでに各地で起きた具体例をもとに学びました。これから長くつき合うであろう通信機器等について、利便性や危険性を知った上で、賢く正しく安全に使える力を養わなければと感じました。



青い目の人形：ドロシー・ダウンの話



全校の集いで、平和の親善大使、校長室の「青い目の人形」の話をしました。

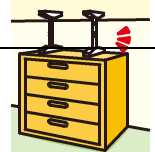
「校長室の青い目の人形の話をします。名前は『ドロシー・ダウン』と言います。昭和2年、今から94年前、アメリカから贈られました。日本とアメリカの平和を願い、また、友情の印としてこの「青い目の人形」が贈られました。『世界の平和は、子どもの世代から・・・その心を育てたい』との思いから青い目の人形が贈られたのです。ところが、そんな願いもむなしく、ドロシーが川俣小にきてから十数年後には、日本とアメリカの間で太平洋戦争が起こってしまいます。長崎・広島の実爆等で終戦をむかえるまで、数年間、戦争が続きました。戦争は、この世の地獄と言われます。二度と起こしてはいけないのがこの戦争です。残念なことに、今、この時にも世界では戦争・紛争等が起きています。そして、皆さんと同じくらいの子どもの犠牲になっています。「青い目の人形」のように、平和を願い、平和を築こうとする力を人間は持っています。それと同じく、戦争を起こしてしまう危険性も人間は持っています。



差別や偏見のない社会を願う先日のシトラスリボン運動も平和の祭典オリンピックも、人と人との温かな交流、人種等を越えた世界平和を願う意味で青い目の人形と根は同じです。スマホ・ケータイ教室の「スマホやゲーム機など、人を傷つける道具としては絶対に使わない!」という話も根は同じです。94年前に川俣小にやってきた青い目の人形：ドロシー・ダウンさんは、その青い目で、『やさしく、正しく、そして、強く生きる』ことを今も訴えているように思います。みなさんは学年の勉強のまとめをがんばっていますね。それと同じように、思いやり等の『心の成長』の振り返りやまとめも大事にしてください。」



今後も余震等にご注意を



2月13日(土)震度6弱の大地震に、子どもたちも衝撃を受けたことと思います。保護者の皆さまには、その後の対応等にお疲れのことと推察いたします。

今後、1週間程度は同規模の地震発生の可能性も指摘されています。また、今後の大雨による被害やそれに伴う地盤の緩み等も懸念されています。学校では引き続き自分の命を守る指導を進めてまいります。ご家庭におきましても、近くの通学路の異状等に配慮されるなどして、今回の地震、余震等に係るご指導等をよろしくお願いいたします。